

資料2 自治体ヒアリング項目

1 検証件数について

- 1-1 過去5年間に実施した、死亡または重篤事例の検証件数を教えてください（完了していないものも含みます）。

2 検証組織について

- 2-1 検証を担当する部署に在籍している職員について教えてください（主たる職務経験や現在の職務内容も含みます）。
- 2-2 検証委員会の委員構成及び選出基準について教えてください。

3 検証対象事例の選定について

- 3-1 検証対象事例をどのように把握・選定していますか。

4 内部検証、市町村の独自検証について

- 4-1 内部検証を行うことはありますか。その手順や方法について教えてください。
- 4-2 管内の市区町村が独自に内部または外部検証を行い、それを踏まえて貴自治体として検証を行ったことはありますか。その経緯や効果について、ご存じの範囲で教えてください。

5 関係機関からの情報収集について

- 5-1 情報収集にあたって困難さが軽減されるために重要だと感じていること、工夫していることはありますか。とくに警察・検察、医療機関、転居元自治体からの情報収集を検討・実施した経験があれば、そのときに行った工夫などについて教えてください。
- 5-2 検証のために刑事確定訴訟記録（いわゆる裁判記録）の閲覧を行ったことがあれば、そのときのことを教えてください。閲覧したことがない場合は、裁判で明らかになる情報をどのように収集しているか教えてください。
- 5-3 情報収集の過程で、事例当事者（被害児童の保護者やその家族など）から情報収集をすることを検討・実施した経験があれば、そのときのことを教えてください。
- 5-4 情報収集の過程で、事例関係者（事例担当者やその上司や同僚など）へのケアが必要だと感じられる事例を経験していれば、そのときどのような対応をされたのか教えてください。

6 報告書の作成・公表について

- 6-1 報告書はどのように作成していますか。検証委員が報告書の起案を行ったことがある場合には、そのときの経緯及び利点、留意点について教えてください。
- 6-2 報告書を公表する場合、掲載する情報の範囲及び報告書の公表範囲・方法について、誰がどのように決定していますか。

7 検証結果の共有・活用について（研修等）

- 7-1 貴自治体で検証した結果をどのように関係部署・機関と共有していますか。また共有以外に活用していることはありますか（※研修を含みます）。
- 7-2 貴自治体で検証した結果を関係部署・機関と共有する際に苦慮したこと、工夫したこと、効果があったことを教えてください。
- 7-3 国または他自治体の検証報告を活用して会議や研修等を行うことはありますか。

８ 検証後の経過について

８－１ 貴自治体で実施した検証結果の中で提言された内容が、その後実現しているか否かをフォローアップする取り組みをしていますか。

８－２ これまでに検証の意義や効果を実感するようなことはありましたか。

９ 検証あるいは検証結果の活用をしやすくする工夫について

９－１ 検証あるいは検証結果の活用を行う上で、参考にしてきたものがありますか。

９－２ 貴自治体として検証あるいは検証結果の活用を今後も進めていく上で、国や広域的な支援を行っている組織（子どもの虹情報研修センター、西日本こども研修センターあかしなど）に期待することはありますか。

１０ その他

１０－１ 検証及び検証結果の活用に関して、本日訪問したヒアリング担当者にお訊ねになりたいことがあれば、ご自由にお話してください。